

# 大腸内視鏡検査の新しい鎮静剤：レミマゾラム (remimazolam)

レミマゾラムは、日本の第Ⅲ相臨床試験において良好な結果を示した超短時間作用型の、ベンゾジアゼピン系静脈麻酔・鎮静剤です。



レミマゾラムは、組織中エステラーゼにより直ちに代謝されて不活性代謝物となり、肝臓のシトクロム依存的経路により代謝されません。

他のベンゾジアゼピン系薬剤と同様に、レミマゾラムはベンゾジアゼピン受容体拮抗剤であるフルマゼニルの投与により、必要に応じて鎮静状態及び麻酔を即座に中止することができます。



これまで実施された外国の臨床試験において、レミマゾラムは、1,700 名以上の健常人および患者に対して有効性と安全性を示しました。

レミマゾラムは、米国の大腸内視鏡検査における鎮静において良好な成績を示し、「Gastrointestinal Endoscopy」誌に報告されました。



レミマゾラムは、速やかな作用発現と作用消失に加えて良好な心肺安全性プロファイルを有することが示されています。